

ちくじ

- 2 6月定例会の概要、議案審議質疑
- 5 一般質問
- 12 常任委員会等の活動報告、議会モニター委嘱状交付
- 13 議員報酬額の改定について、請願・陳情審査
- 15 政務活動費執行状況
- 16 ちよつと言、議会の動きほか

名
現在時刻 12:36



はなまき市議会だよ

花の風

第88号

令和8年7月31日

議案審議

質 疑

◆地域おこし研究所運営事業費 603万4千円

- 質問…地域おこし研究所運営事業は、費用対効果や地域課題解決の成果が見えにくいのではないか。
 答弁…地域おこし研究所は、平成30年度から慶應義塾大学SFC研究所に助言等を委託し、令和8年度も地域課題解決に向けた実証研究や施策上の助言を継続する。職員の政策形成や能力開発に寄与している一方、職員負担や地域貢献には課題があり、運営の在り方を検討する。

◆かわまちづくり推進事業費 1876万円

- 質問…かわまちづくり推進事業では、北上川右岸の駐車場整備やイギリス海岸周辺のトイレ改修をどのように進めるのか伺う。
 答弁…かわまちづくり推進事業では、北上川河川敷の駐車場実施設計、銀河大橋たもとの駐車場造成、イギリス海岸周辺トイレの公共下水道接続を予定。浄化槽改築とトイレ3基の更新も今回予算で行う。

◆有害鳥獣被害対策事業費 36万円

- …ツキノワグマの目撃・被害増加への対応について、鳥獣被害対策実施隊の定員を160人から200人に増員し、増員分の報酬を追加するもの。

質 疑

- 質問…鳥獣被害対策実施隊を40人増員する理由は何か。また、地域ごとの定員はあるのか。任命はいつ行うのか伺う。
 答弁…5月時点で定員160人に対し159人を任命済みで、さらに入隊希望者が26人ほどいる。希望者にも活動してもらうため、定員を200人に増やすもの。地域ごとの定員は設けていないが、活動は地域ごとの支部や班を通じて行う。任命は、予算可決後、猟友会や北猟会からの推薦を受けて進める。



反対討論

◆J R花巻駅東西自由通路等整備事業

【照井明子 議員】

J R花巻駅東西自由通路等整備事業について、国補助金が削減され理由も不明であることから、市民への説明責任が不十分であり、事業費増額分はJ R東日本にも応分の負担を求めるべきだ。

◆図書館整備事業

【羽山るみ子 議員】

図書館整備事業について、物価高騰、資材不足、補助金減額など今後の見通しが不透明である。

6月定例会 提出された24議案を可決

令和8年第2回花巻市議会定例会は6月12日開会、6月26日までの15日間の日程で開かれました。
 初日の本会議では、総務常任委員会で継続審査としていた陳情1件が採択され、意見書の提出が原案可決されました。
 6月15日から18日までの一般質問には18人が登壇し、市政課題について質問しました。
 6月19日の議案審議では、令和8年度花巻市一般会計補正予算(第1号)などの11議案を原案のとおり可決し、3件の専決処分の承認と4件の報告がありました。
 最終日の6月26日には、令和8年度花巻市一般会計補正予算(第2号)などの10議案を原案のとおり可決し、1件の報告がありました。
 また、委員長報告では総務常任委員会、文教福祉常任委員会、産業建設常任委員会で審査した請願・陳情のうち、総務常任委員会、文教福祉常任委員会で審査した請願2件が採択、その他陳情2件は不採択となりました。採択された請願のうち、文教福祉常任委員会で審査した請願について意見書を発議しました。
 主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

審議の様子は
こちら



(6月19日)



(6月26日)

可決

令和8年度花巻市一般会計
補正予算(第1号)

29億7135万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ総額611億50万円とするもの。
 ※市議会が注目した主な補正予算は次のとおり。

◆J R花巻駅東西自由通路等整備事業費を1億5388万6千円減額

質 疑

- 質問…都市再生整備計画に掲げた事業は補助対象事業で間違いないのか。制度上は2分の1補助でも、国の状況により満額交付されない場合があるのか。その場合も事業を継続するのか伺う。
 答弁…計画に記載された事業は補助対象であるとの認識で、国、県、市が折り合っている。補助金は毎年、概算要求から国の予算編成を経て交付される。制度上は2分の1補助であっても、国の予算状況等により要求額に満たない内示となることがある。庁内で財政面や事業期間を検討した結果、先送りすれば補助率低下や合併特例債の期限切れにより将来の市負担が増える可能性があるため、財源確保に努めながら早期整備を目指す。

【表紙写真について】

任期最後の定例会終了後に撮影しました。

4年間お世話になりました。

一般質問

6月定例会では、18人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和8年第2回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）		
本館 憲一 議員 （はなまき市民クラブ）	一括質問 一括答弁	① 立地適正化計画の評価及び展望について
伊藤 盛幸 議員 （緑 の 風）	一問一答	① 立地適正化計画の今後の展開について ② 広聴事業について ③ コミュニティスクールについて ④ 教育振興基本計画について
照井 省三 議員 （社民クラブ）	一問一答	① 悪臭問題について ② 市内中学校の部活動について ③ J R花巻駅橋上化工事について
久保田彰孝 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	一括質問 一括答弁	① 水稲苗の立枯病について ② 中小事業者支援について
伊藤 宏宏 議員 （明 和 会）	一括質問 一括答弁	① 大迫地域における人口減少対策について ② 大迫地域診療センターについて ③ 小中学校の適正規模・適正配置について ④ 熊対策について
羽山るみ子 議員 （はなまき市民クラブ）	一括質問 一括答弁	① 熊の出没情報について ② 新花巻図書館について ③ 台温泉地区に残存する施設への対応について
鹿討 康弘 議員 （緑 の 風）	一問一答	① 街路灯について ② 総合花巻病院について ③ フリースクール支援について
若柳 良明 議員 （社民クラブ）	一括質問 一括答弁	① 地域コミュニティ活動の充実について ② 有害鳥獣について ③ 職員の安全衛生について
照井 明子 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	一問一答	① 子供の権利を大切に作るまちづくりについて ② 公共施設におけるユニバーサルトイレ整備の推進について
小原 保信 議員 （明 和 会）	一括質問 一括答弁	① 農業振興について ② 空き家等対策について
内館 桂 議員 （はなまき市民クラブ）	一問一答	① いわて富士大学スポーツ健康科学部の開設について ② 次期花巻市過疎地域持続的発展計画について
小森田郁也 議員 （緑 の 風）	一括質問 一括答弁	① 地域の包括的支援体制の構築について ② 地域おこし協力隊について ③ 新規創業支援について
阿部 一男 議員 （社民クラブ）	一括質問 一括答弁	① 農業について ② 林業振興について
櫻井 肇 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	一括質問 一括答弁	① 多世代交流型施設について ② 原油価格及び物価高騰に対する支援について ③ 高額療養費制度の見直しについて ④ 窓口業務について
横田 忍 議員 （明和会）	一問一答	① 歳入の確保について ② 基金の運用管理について
似内 一弘 議員 （緑の風）	一問一答	① 市民との共創について ② 部活動の地域展開・地域連携について
佐々木 精市 議員 （会派に所属しない）	一括質問 一括答弁	① 読書の推進について ② 宮沢賢治イーハトーブ館について ③ 人口減少対策について
菅原 ゆかり 議員 （会派に所属しない）	一括質問 一括答弁	① 低出生体重児及びその家族への支援について ② R Sウイルスワクチンの接種について

可決

花巻市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例

地方税法施行令等の一部を改正する政令が令和8年4月1日に施行されたことに伴い、国民健康保険税の基礎課税額および子ども・子育て支援納付金課税額に係る限度額並びに低所得者に対する被保険者均等割額および世帯別平等割額を軽減する基準に係る被保険者数に乗じる額について所要の改正を行ったもの。

質 疑

- 質問…課税限度額の引き上げは1万円とあるが、対象人数あるいは世帯はどれくらいか伺う。
答弁…影響を受ける世帯数は65世帯である。1万円の影響額であることから、総額は65万円となる。
- 質問…子ども・子育て支援金の上限負担の方も65世帯ということになるか。
答弁…基礎課税額医療給付費分であることから、子ども・子育て支援金の課税限度額が3万円に設定したもののについては、この基礎課税額の引き上げとは異なるものである。子ども・子育て支援金の課税限度額が今回初めて3万円と設定したもの。この3万円を超える世帯は、155世帯である。影響額としては、マイナス444万1千円となるもの。

反対討論

【櫻井 肇 議員】
国が決定したものではあるが、これは市民に新たな負担がかかるということ。そもそもこの国保税というのは医療保険である。子ども・子育て支援金というのは、目的外の徴収を市民に求めるものであることから、不承認とするものである。

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案 39	花巻市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
議案 50	令和8年度花巻市一般会計補正予算（第1号）
請願 4	大迫地域の中心市街地の振興策の一助とされる「エーデルワイス展示館」の整備の促進が図られることを議会として監視することについて
意見書 1	化製場の悪臭問題の改善措置を求める意見書の提出について

会派名	明和会						はなまき 市民クラブ		緑の風			社民クラブ		日本共産党花巻 市議会議員団		会派に 所属しない		審議結果						
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	羽山るみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三	若柳良明		阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	菅原ゆかり
議案 39	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	●	●	○	○	承認
議案 50	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
請願 4	●	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	採択
意見書 1	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。



かわい けんじ 議員

■居住誘導区域内の人口の状況について

変更後の立地適正化計画での居住誘導区域内の人口および人口密度の状況を伺う。また、令和17年度時点の目標達成をどのように見込んでいるかを伺う。

Q

居住誘導区域内の人口密度は、令和7年度の国勢調査の市町村の詳細結果がまだ示されていないため、直近の数値は把握していない。

計画終了年度の17年度の目標1ヘクタールあたりの人口密度35人の達成見込みは、人口減少が進む中非常に厳しいと認識している。目標達成に向けて今後



も各種施策を展開し、取り組んでいく。

■花巻市立地適正化計画における総事業費について

花巻市立地適正化計画において、現時点までに要した総事業費および計画が全て完了したときの総事業費の見込みについて伺う。

Q

ヘッド事業における令和7年度末までの実績の総額は、約85億7900万円である。また、計画に掲載している事業の残りの総事業費は、約94億3000万円を予想している。本計画は、計画期間が令和17年度までであり、今後の事業の見直し等も考えられ、計画終了時点の総事業費を算出することは困難である。

人口減少対策を着実に進めるとともに、居住誘導区域および生活サービス拠点への誘導に向けた施策を実施し、まちの魅力向上と生活サービス機能確保を併せて取り組むことで、急激な誘導ではなく、自然かつ緩やかに人口集積が進むよう長期的・持続的に取り組むを進める。



いとう せいこう 議員

■立地適正化計画の今後の展望について

立地適正化計画に定めている居住誘導区域および生活サービス拠点への人口集積を、残る計画期間の1年で市民参画を基本に研究・構築する考えを伺う。

Q

人口減少対策を着実に進めるとともに、居住誘導区域および生活サービス拠点への誘導に向けた施策を実施し、まちの魅力向上と生活サービス機能確保を併せて取り組むことで、急激な誘導ではなく、自然かつ緩やかに人口集積が進むよう長期的・持続的に取り組むを進める。



■花巻市教育振興基本計画について

将来、医師や高度な研究職、技術職を目指す子どもたちが、その実現に向けてしっかりと学力を身につけることが必要である。児童生徒の学力向上の取り組みを伺う。

Q

平成29年度に「学力向上アクションプラン」を策定し、「校内生活、授業環境の充実」「実態に即した授業改善の推進」「家庭生活、家庭学習の充実」の3つの柱で学力向上に取り組んでいる。令和7年度は小学校の国語、算数で県平均を上回る成果がある。



てらい しろ 議員

■悪臭問題について

悪臭問題について、市の再要望に対する岩手県の最終回答を受け、市としての今後の対応策を伺う。

Q

県への要望に加え、新たに国に対しても要望予定。内容は施設整備等に対する財政支援および化製場の公設民営化、または公的支援による共同整備の在り方についての検討。化製場に関連する法令を所管する関係省が横断的に連携し、都道府県や市町村に対し、統一のかつ抜本的な解釈および運用方針を示すことの2点についての要望を検討する。



■JR花巻駅橋上化の整備について

JR花巻駅橋上化（東西自由通路整備の工事に伴う花巻駅西口の駐輪場の整備（屋根付き）について伺う。

Q

整備工事に伴い西口の駐輪場のうち屋根付きの駐輪場3カ所、台数348台分を撤去。代替分として昨年西口広場周辺に屋根付き駐輪場312台分、屋根なしの駐輪場83台分の合計395台分を整備した。屋根なし駐輪場に駐輪している自転車も相当数見られ、今後屋根付き整備を検討する。



くぼた しょうこう 議員

■水稻の苗立枯病について

水稻の苗の一部が枯れる被害が発生している。県が病害虫発生予察情報を発令したが、農家に十分伝わらなかったのではないかと

Q

県は国が定めた指針に基づき「岩手県病害虫総合防除計画」を策定しており、当該計画では、病害虫防除所と農業改良普及センターが病害虫の発生状況の把握に努めているとともに、農業者等に対する防除対策の周知と防除指導を行うこと。市町村は県が行う発生状況調査や農業者に対す

現在、ホルムズ海峡周辺の混乱により、石油や石油由来の原料が不足している。多くの中小企業者が資金繰りや雇用維持において厳しい状況になっていると認識している。岩手県は6月定例会において物価高騰対策のための補正予算を上程すること。国や県の動向を注視しつつ、関係機関と連携しながら必要な支援を検討する。



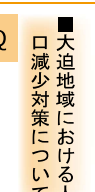
■中小企業支援について

電気およびガス代、資材高騰に伴う事業者の負担軽減に向けた支援の考えについて伺う。

Q

現在、ホルムズ海峡周辺の混乱により、石油や石油由来の原料が不足している。多くの中小企業者が資金繰りや雇用維持において厳しい状況になっていると認識している。岩手県は6月定例会において物価高騰対策のための補正予算を上程すること。国や県の動向を注視しつつ、関係機関と連携しながら必要な支援を検討する。

大迫地域の魅力発信を行い、都会等からの移住者を増やせる仕組みをつくるなど、大迫地域に特化した施策を行う考えはないかと



■大迫地域の魅力発信人口減少対策について

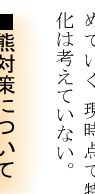
大迫地域の人口減少率は、10年前比26.5%と、より深刻な状況が続いている。地域おこし協力隊が定住し、ブドウ栽培やまちづくり活動を通じて交流が生まれている現状の中、地域の魅力を發揮するものと住宅取得や新生活の支援を通じ、移住希望者が安心して暮らせる環境づくりを進

Q

令和7年度は、熊の人的および物的被害防止のため前年度を上回る73頭を捕獲した。熊の捕獲は「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」において都道府県の許可を受けなければならない。えさ場の設置は県から許可を得られないと認識している。岩手大学との共同研究を継続し、人的物的被害防止に努める。



いとう ただひろ 議員

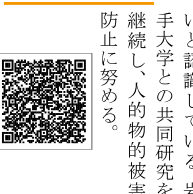


■熊対策について

熊被害が続発しており、容易に駆除や頭数制限が行えるように、えさ場を設置して誘引し捕獲するなどの考えについて伺う。

Q

令和7年度は、熊の人的および物的被害防止のため前年度を上回る73頭を捕獲した。熊の捕獲は「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」において都道府県の許可を受けなければならない。えさ場の設置は県から許可を得られないと認識している。岩手大学との共同研究を継続し、人的物的被害防止に努める。



■JR花巻駅橋上化の整備について

JR花巻駅橋上化（東西自由通路整備の工事に伴う花巻駅西口の駐輪場の整備（屋根付き）について伺う。

Q

整備工事に伴い西口の駐輪場のうち屋根付きの駐輪場3カ所、台数348台分を撤去。代替分として昨年西口広場周辺に屋根付き駐輪場312台分、屋根なしの駐輪場83台分の合計395台分を整備した。屋根なし駐輪場に駐輪している自転車も相当数見られ、今後屋根付き整備を検討する。



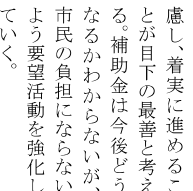
はやま るみ子 議員

■新花巻図書館について

資材および人材不足や物価高騰、さらに国からの補助金減額による整備の影響と市の負担について伺う。

Q

コストの縮減と品質確保の両立を図るため適切な工法の選定や資材の検討を行っている。さらなる物価上昇、合併特例債が活用できないことによる財政負担増のリスクを考慮し、着実に進めることが目下の最善と考える。補助金は今後どうなるかわからないが、市民の負担にならないよう要望活動を強化していく。

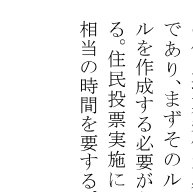


■国からの補助金減額による公共施設建設の見直しを余儀なくされた自治体が増えている。改めて現状を市民に説明し、市議会議員選挙にあわせて、市長権限で執行することができる住民投票（まちづくり基本条例）を行い、民意を問う考えはないかと

住民投票に関しては、常設型の条例がなく、それぞれ投票すべき課題が生じたことに個別の住民投票条例が必要であり、まずそのルールを作成する必要がある。住民投票実施には相当の時間を要する。

住民投票に関しては、常設型の条例がなく、それぞれ投票すべき課題が生じたことに個別の住民投票条例が必要であり、まずそのルールを作成する必要がある。住民投票実施には相当の時間を要する。

住民投票に関しては、常設型の条例がなく、それぞれ投票すべき課題が生じたことに個別の住民投票条例が必要であり、まずそのルールを作成する必要がある。住民投票実施には相当の時間を要する。





くろき しろひろ 議員

■総合花巻病院について

現在の体制で自立的な経営改善が困難となった場合、市はどのように対応するのかが、救急医療体制を維持するための財政支援も選択肢となるのか。

現時点では直ちに自立的経営が困難な状況とは認識していない。対応が必要となった場合は、法人や金融機関が第一義的に検討することになるが、市も地域医療確保の観点から意見を述べる。単なる赤字補填は行わないが、救急医療体制を守るために必要な場合は、財政支援も選択肢になり得る。



■フリースクール支援について

市内のフリースクールでは、資金難によるスタッフ削減や開校日の縮小が生じている。国の「児童育成支援拠点事業」を活用し、学習支援や送迎支援などを早急に実施できないか。

養育環境に課題を抱える子どもへの居場所、生活・学習・食事、課外活動、送迎などを支援する事業であり、市が民間団体へ委託することも可能である。フリースクールなどの専門性を生かした委託方法を検討しており、早ければ今年度中の事業開始を目指す。



くろき しろひろ 議員

■地域づくり交付金について

「コミュニティ会議」代表者会議で交付金配分を14地区を対象に減額すると説明した内容について伺う。

27地区ごとに均等割、世帯割、面積割を按分して交付してきた。15年経過したこともあり、現在の世帯数を用いて算出するよう見直すべきではないかという意見もある。令和8年3月の「コミュニティ会議代表者会議」で「協議会の出発点」として提示したところであり、一方的に減額するということ趣旨ではな



くろき しろひろ 議員

■コミュニティ会議の給料の見直しについて

コミュニティ会議の職員の給料は、当初会計年度職員と同じレベルであったのに、現在は低く抑えられている。会計年度任用職員に準じた賃金の改善が必要である。

コミュニティ会議の事務職員の給料の見直しについて、令和8年度からの5年間は、コミュニティ会議事務職員一人当たりの月額を18万4800円とし、最低賃金や社会経済情勢、地域の実情、市の財政状況を総合的に判断し、必要な見直しを行う。



てらい あきこ 議員

■市の政策策定に子どもの声の反映を

国のこども基本法に子どもの権利条約の4原則を位置づけた。子どもの意見表明権を活かし政策に子どもの声を反映させる考えを伺う。

花巻市まちづくり基本条例第8条には「子どもは、その年齢に応じてまちづくりに参画する権利を有する」と明記し、子どもも政策の対象となる年齢や発達段階に応じた方法で、子どもやその保護者の意見を聴取するとともに参画機会の確保に努めている。今後も、子どもの意見が的確に反映されるよう改善に取り組む。



■自衛隊への情報提供除外申請制度の周知

市は、自衛隊への個人の情報提供を行っているが、除外申請制度等、個別に周知を行うべきではないか。

市では18歳に達する方の氏名等を記載した名簿を自衛隊へ提供している。一方、提供を望まない方の意見を尊重し、除外申請制度を令和7年から導入し、同年は2名、令和8年は7名の申請があった。個々への周知は事務量や費用、運用方法など課題があるため、他自治体の情報を踏まえながら実施の可否について検討する。



おぎはら たいすけ 議員

■立枯病の原因調査について

花巻地域の水稲育苗で立枯病が発生したが、検証する取り組みについて伺う。

原因調査は岩手県病害虫防除所と中部農業改良普及センターが行っており、県に対し調査の進捗状況の公表を求めていく。また、具体的な育苗管理技術などの情報も関係機関と共有し、農業者の皆さまにお知らせする。



■農地の不在地主対策について

所有者が亡くなり、耕作放棄地になっている農地があり、水田に再生したくても相続人がいない状況の農地の対策について伺う。

所有者不明農地制度を活用し、相続放棄された農地の把握と受け手となる担い手の情報を通じて利用権設定を進める。また、農地の遊休化が進行していくので、利用権設定までの期間の短縮を関係機関と協議していく。



うちだ てつ 議員

■次期花巻市過疎地域持続的発展計画について

大迫、東和地域への企業誘致対策は、次期計画においてどのような進めようとしているのか。

令和元年9月に策定した「国土利用計画 花巻市計画(第二次)」では、市内5カ所の産業団地の整備適地を定めているが、大迫、東和地域は選定していないことから、新たな団地造成や既工業団地の拡張は検討していない。企業から両地域内に新規立地に関する候補地算入照会があった際には、新規誘致の実現に向け、支援していく。



■いわて富士大学スポーツ健康科学部の開設について

令和9年4月から富士大学に開設が予定されているスポーツ健康科学部の取り組みに対する市の考えについて伺う。

市内小中学校生の競技力の向上や大学と連携した健康相談、運動指導、生活習慣改善のプログラム作成や、スポーツ健康科学の知見を活かした市民の健康増進施策への活用など市や市民のスポーツ振興や地域の活性化につながることに期待している。



こまつ こうへい 議員

■地域の包括的支援体制の構築について

「※」導入の検討状況や、既存の窓口では届かない方々への支援について伺う。

「通いの場」等のコミュニティナースに類似する事業を多く展開しているため導入には至っていない。アウトリーチ支援(※)は民生委員や社協の訪問相談員等に対応し、今年度からひきこもり支援でも実施する。既存の窓口に來られない方への支援として、地域内で自主的に取り組む際には市も積極的に関わり、包括的支援体制の一部として構築を進める。



■新規創業支援について

「まちなか創業支援事業」の地域別の実績や課題、中心市街地以外で活用できる未利用店舗の実態把握について伺う。

利用実績36件のうち花巻地域が32件、石巻谷地域が2件、東和、大迫地域が各1件である。本事業の課題は「事業の継続」と「改修費の高額化」であり、補助を受けた36件のうち、約2割が移転や閉店をしている。花巻地域では平成27年度に遊休不動産調査を実施しているが、それ以外の地域は、住居兼店舗の実態等も考慮し、確認できる範囲で実態把握に努める。

※コミュニティナース:絆CNCが提唱するコンセプト。人とつながり、まちを元気にする、誰もが実践できる行為。在り方に名前をつけたもの。

※アウトリーチ支援:支援を必要としている人のもとへ向いて行う支援。



あべ かずお 阿部 一男 議員

■オーガニックフェスタについて

目的および内容について伺う。

A

「オーガニックフェスタinいわて」として10月24日、25日の2日間、花巻市上町周辺を歩行者天国にして開催する方向で調整中である。現在、花巻市有機農業推進協議会の構成員が中心となり検討を行っているところであり、主にマルシェや講演会等を行う予定としている。今後マルシェの出店者募集を行い、10月初旬には詳細について周知する方向で進めている。



■花巻市木材利用促進会議について

活動内容および花巻産木材の活用実績について伺う。

A

活動としては、市所有の公共建築物等における毎年度の木材利用計画の策定や実績の取りまとめ等を行い、木材の利用促進を図っている。花巻産木材の直近の活用実績としては、市営本館アパート、宮沢賢治童話村、ホテルベルンドルフの内装の修繕など5件あり、木材総使用量46・7㎡となっている。



■高額療養費制度の見直しについて

8月からの高額療養費上限額の改正の内容および国民健康保険加入者への影響について伺う。

A

令和8年8月からの所得に応じた区分ごとに設定している月額額の自己負担限度額が引き上げられる。所得の高い区分で最大1万7100円、住民税非課税世帯で7000円の引き上げとなる。令和9年8月の見直しでは、所得区分がさらに細分化され、自己負担限度額が引き上げられ、最大8万6420円、住民



さくらい はじめ 櫻井 肇 議員



よこた しのが 横田 忍 議員

■歳入の確保について

公共施設の使用料の見直しについて伺う。

A

見直しの視点として、一つ目に「市民優先の料金体系の導入と受益者負担の公平性の確保」、二つ目に「利用者が分かりやすい料金区分の設定」、三つ目に「類似施設における料金算定基準の統一」を掲げており、作業の進捗状況につきましては、令和9年4月の料金改定を目標にして、対象施設の選定や基準料金の検討を行っており、12月定例会までに、使用料の条例改正案を提出することを目指して、進めていく。



■基金の運用管理について

(仮称)基金運用管理委員会設置の市の見解について伺う。

A

基金運用管理委員会の設置については、補正予算の都度、金利の動向などを踏まえた基金の運用状況の情報共有を行っており、十分に機能していると判断され、委員会を新設することは、事務量・人的負担の増加につながるため現時点では設置を考えないところではあるが、基金本来の目的への活用に支障が生じない範囲で、最大限の利益が得られることを目指して効率的な運用をしていく。



にたない かずひろ 似内 一弘 議員

■市民との共創について

市長が市政の基本姿勢として掲げる「市民との共創」の具体的な推進方法について伺う。

A

市政懇談会やまちづくり懇談会、市長との対話、要望陳情の受付、市長へのはがきおよびメールなど、市民の声を聴いたり、提言を受けたりするための重要な手段を通じて生まれたアイデアを参考にしながら市政に取り組んでいくことは、市民との共創につながる有効な推進方法の一つであると考えている。市民との共創をより実効的に推進していくため



■部活動の地域展開・地域連携について

中学生の安全が確保された部活動の地域展開・地域連携を進めていくために、国の「地域展開等推進事業」を活用すべきと考えるが見解を伺う。

A

当該事業は、スポーツ庁および文化庁による補助事業である。子どもたちの豊かで幅広い活動の機会を保障するために、市としての事業を導入すること、を前提としながら、市内の関係各課および団体と連携して、まずは地域クラブを管理指導していく体制づくりから始めていきたいと考えている。

■宮沢賢治イーハトーブ館の今後の展開について

賢治作品にちなんだリニューアルのリアルーム設置の考えはないか伺う。

A

市では現在、宮沢賢治学会イーハトーブセンターに依頼し、研究者および一般来館者向けの新たな動画の作成を行っており、本年賢治生誕130年にあたり11月に国際研究大会の開催を予定しておりこの場で完成した動画をお披露目することとしている。プラネタリウム設置は整備費、運営費等の観点から現時



ささき ませひろ 佐々木精市 議員



点では難しいと考えている。

■人口減少対策について

「ふるさと住民登録制度(※)」を創設する考えはないか伺う。

A

総務省では令和8年度内の制度開始を想定し、準備を進めているところであると同っている。市としては、二地域居住をはじめとする関係人口創出に有益で担い手問題などの解決に資する一つの方策となる制度と考え、今後の総務省および、他自治体の動向を踏まえながら、制度への参画に向けた準備を進めていく。



すがわら 菅原ゆかり 議員

■母子保健について

低出生体重児およびその家族の支援について搾乳器や冷凍の母乳パック購入に係る費用の助成について伺う。

A

早産児を出産した母親は様々な不安を抱えている。生後2カ月前後の家庭へ「こんにちは赤ちゃん訪問の機会があり、支援が必要と判断される場合、心と体の状態を聞きながら必要な支援を行っている。搾乳器の助成については、先進的に取り組む自治体の状況等について調査している。



■高齢者の健康について

RSウイルス(※)ワクチンについて、基礎疾患を持つ高齢者に対する費用助成の考えについて伺う。

A

高齢者へのRSウイルスワクチンの定期接種料の判断はしばらく時間がかかると推察される。現時点で本市が独自に高齢者へのRSウイルスワクチンへの接種助成を実施することとは検討していないが、今後の国の厚生科学審議会の動向を注視し、他の自治体の情報収集も引き続き実施していく。

※ふるさと住民登録制度：住民票を移さず関わりたい地域のふるさと住民として登録し継続的につながることができることとされる制度。
※RSウイルス感染症：急性の呼吸器感染症。年齢を問わず何度も感染を繰り返すといわれている。

議員報酬増額 条例改正可決

令和8年第2回花巻市議会定例会において「花巻市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」について提案がありました。これは、花巻市議会議員報酬調査検討結果報告書および諸般の情勢に鑑み、議員報酬月額を改めようとするもので、6月19日の議案審議で原案のとおり可決されました。

◎議員報酬額

単位:円

	現 行	改定後	改定額
議 長	431,000	495,000	64,000
副議長	369,000	425,000	56,000
議 員	339,000	390,000	51,000

※改定後の報酬額は、令和8年8月1日から施行されます。

常任委員会等の活動報告

産業建設常任委員会

- ◆5月15日(金)
* 所管事務調査「スマート農業について」
- ◆6月23日(火)
* 第3号陳情「ネオニコチノイド農業の使用を禁止する条例の制定について」
▽審査結果・・・不採択

総務常任委員会

- ◆6月22日(月)
* 第4号請願「大迫地域の中心市街地の振興策の一助とされる「エーデルワイス展示館」の整備の促進が図られることを議会として監視することについて」
▽審査結果・・・不採択

文教福祉常任委員会

- ◆5月21日(木)
* 所管事務調査「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる花巻市まちづくり条例について」
- ◆6月22日(月)
* 第5号請願「ゆたかな学びの実現、教職員定数改善を図るための2027年度政府予算に係る意見書採択を求めることについて」
▽審査結果・・・採択
- * 第6号陳情「岩手県特定不妊治療交通費助成制度における助成基準額の改善を求める意見書の提出を求めることについて」
▽審査結果・・・不採択

議会改革推進会議

- ◆5月28日(木)
* 協議(1) 議員間討議について
(2) 花巻市議会基本条例に基づく活動の検証について
- ◆6月24日(水)
* 協議「申し送り事項について」

請願・陳情審査

総務常任委員会が第4号請願、文教福祉常任委員会が第5号請願および第6号陳情、産業建設常任委員会が第3号陳情の審査を行いました。

◆第3号陳情(不採択)
ネオニコチノイド農業の使用を禁止する条例の制定について

審査において、委員からは「陳情者の趣意は理解できるが、農薬取締法という上位法がある中で、それを超えて条例で制限をしようことは不可能と考える」などといった意見が出されました。

採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決しました。

◆第4号請願(不採択)
大迫地域の中心市街地の振興策の一助とされる「エーデルワイス展示館」の整備の促進が図られることを議会として監視することについて

審査において、委員からは「議会の監視は当然やるべきこと。最終目的が展示館の整備というものであるのもう一度はつきりとした目的の請願を出していただきたい」などといった意見が出されました。

議会モニターの皆さまへ委嘱状を交付しました

令和8年5月29日(金)、藤原議長より議会モニターの皆さまに委嘱状を交付しました。
15名のモニターの皆さまには、令和10年3月31日までの任期で活動いただきます。

★市議会ホームページにも掲載しています。
ぜひご覧ください。



◆第5号請願(採択)
ゆたかな学びの実現、教職員定数改善を図るための2027年度政府予算に係る意見書採択を求めることについて

審査において、委員からは「調査の結果、持ち帰りの時間外勤務をしていることがはっきりしている。これはしっかりと地方から上げてこの願意を目的に生かすことが必要と思う」などといった意見が出されました。

◆第6号陳情(不採択)
岩手県特定不妊治療交通費助成制度における助成基準額の改善を求める意見書の提出を求めることについて

審査において、委員からは「岩手県が主体の事業であることから、まずは県への直接要望や県議会における議論が優先されるべきものと考えられる」などといった意見が出されました。

採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決しました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、第4号請願および第5号請願を採択、その他陳情2件を不採択とすべきものと決しました。

令和7年度 花巻市議会政務活動費執行状況

花巻市議会では、「花巻市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。
政務活動費の額は、花巻市議会の場合、議員一人当たり月額2万円で、毎年4月1日に在職する議員に対して、1年度分(24万円)が一括して交付されています。
また、政務活動費の収支報告書の提出にあたっては、議会内の取り決めて、原則領収書をつけて報告することとしており、その内容についてはどなたでもご覧いただけます。
花巻市議会が条例で定めている政務活動費を充てることのできる項目については、下記のとおりです。
また、花巻市議会では、政務活動費の使途の透明性を確保するために政務活動費の執行状況を市議会だよりおよび市ホームページに掲載しています。

- 研究研修費・・・議員が研修会等を開催する(参加する)ために必要な経費【例:講師謝金、会場使用料、旅費等】
- 調査旅費・・・議員が行う調査研究活動のために必要な経費【例:交通費、宿泊費等】
- 資料作成費・・・議員の活動のために必要な資料の作成に要する経費【例:印刷製本代、事務機器購入・リース代等】
- 資料購入費・・・必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 広報費・・・議員活動や市の政策についてPRする経費【例:議員広報紙、報告書の印刷費等】
- 広聴費・・・住民から市への要望や意見を聴取するための会議等にかかる経費【例:会場費、茶菓子代等】
- 人件費・・・議員の調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費・・・活動のために必要な事務所の設置・管理に要する経費【例:事務所の賃借料、維持管理費等】
- その他の経費・・・上記以外の経費で議員が行う調査研究活動に必要な経費【例:事務連絡に要する切手代、事務消耗品】

※交付額を超えた執行額は自己負担です。これに満たない分は市に返還しています。

(単位:円)											
会派	議員名	交付額	執行額	内 訳							
				研 究 研修費	調査旅費	資 料 購入費	広報費	広聴費	事務所費	その他 の経費	
明和会	及川 恒雄	240,000	334,122		139,116	90,700	88,220				16,086
	伊藤 忠宏	240,000	482,707		138,116	85,800	138,791		120,000		
	藤根 清	240,000	205,944	1,000	89,467	85,200					30,277
	小原 保信	240,000	262,667		40,690	85,200	88,000				48,777
	横田 忍	240,000	678,626		97,426	57,600	523,600				
	盛岡 耕市	240,000	193,746	2,720	97,426	93,600					
	佐藤 峰樹	240,000	184,226		98,426	85,800					
	高橋 修	180,000	2,880,026		46,404		2,833,622				
市民クラブ	羽山るみ子	240,000	376,379		77,870	60,000	238,509				
	佐藤 現	240,000	156,220		89,870	59,880					6,470
	内館 桂	240,000	249,022	1,000	77,870	74,726	86,702	3,310			5,414
	本館 憲一	240,000	373,750		77,870	108,000	187,880				
緑の風	小森田郁也	240,000	246,730	40,950	85,060	6,699	114,021				
	鹿討 康弘	240,000	164,119	79,059	85,060						
	似内 一弘	240,000	251,185	102,305	119,540	29,340					
	伊藤 盛幸	240,000	258,214	173,154	85,060						
社民クラブ	照井 省三	240,000	137,800			45,600	92,200				
	若柳 良明	240,000	117,473			117,473					
	阿部 一男	240,000	122,207			103,326		18,100			781
日本共産党花巻市議会議員団	久保田彰孝	240,000	83,292			83,292					
	照井 明子	240,000	260,935			53,785	203,940				3,210
	櫻井 肇	240,000	97,462	71,712		24,750		1,000			
会派を構成していない議員	佐々木精市	240,000	146,241	3,000		93,600	35,970				13,671
	菅原ゆかり	240,000	183,409	78,660		93,600					11,149
	藤原 伸	240,000	188,126		98,426	89,700					

※抜粋して掲載しています。詳細はホームページをご覧ください。

意見書を提出

◆化製場の悪臭問題の改善措置を求める意見書

本市に所在する岩手県化製油脂協同組合の化製場が、悪臭により地域住民の生活に重大な影響を及ぼすことがないよう必要な改善措置を含め、岩手県において適切な指導がなされるよう強く要望します。

理由

本県の畜産振興にとって化製場は不可欠な施設ですが、化製場から発生する悪臭は隣接地域のみならず広範囲にわたって花巻市民を苦しめています。

本市ではこれまで、花巻市悪臭公害防止条例第10条の規定に基づき改善勧告の発令や悪臭公害対策技術参与の配置、岩手県と合同の立ち入り検査など対策を実施してきました。また岩手県においても化製場法や化製場法施行条例等に基づく立ち入り検査や中部保健所の文書指導などがなされてきましたが、長年にわたって悪臭問題が解消されない状況が続いています。

よって、岩手県において畜産振興、食料生産に不可欠な化製場が、住民の生活環境に重大な影響を与えることがないよう、次の措置を講じられるよう強く要望します。

◆ゆたかな学びの実現、教職員定数改善を図るための2027年度政府予算に係る意見書

(一部省略)

文部科学省の「教員勤務実態調査」(速報値、2023年4月28日公表によると、在校等時間が短縮したもの、持ち帰りや土日出勤を含めた残業時間は、実質月80時間を超えており、長時間労働の是正が進んでいません。岩手県内の学校現場においても、人的余裕がない中での学校運営が常態化しており、年度途中での育休者・病休者等の代替補充が進まず、欠員が生じてさらに職場に余裕がなくなるといふ負の連鎖が続いています。

厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、岩手県

1 岩手県及び花巻市、J A岩手県中央会、化製場の受益者である「と畜残渣」など畜産副産物の排出事業者等を構成員とする、化製場悪臭対策連絡会議(仮称)を設置し効果的な対策を実施すること
2 「臭気処理」に関する規定を盛り込んだ化製場等に関する法律施行条例に改正すること
3 花巻市のみ問題とせず岩手県全体で問題を共有し、国からの支援体制を得ること
4 移設・新設を含め公設民営等による化製場の設置・運営方法について、岩手県が主体的に検討すること

では県単独予算による教員配置は講じられていないなど、自治体間で教育格差が生じることとは大きな問題です。義務教育費国庫負担制度は、2006年の「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として定数改善に向けた財源保障をし、子供たちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。ゆたかな子供の学びを保障するための条件整備は不可欠です。
こうした観点から、2027年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう強く要望いたします。

1 学校の働き方改革・長時間労働は正を実現するため、計画的な教職員定数改善を推進すること。
2 自治体の実効性のある働き方改革を実行するために必要な予算措置を講じること。教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

※請願・陳情・意見書全文は市ホームページに掲載しています。



たかはし はるせ
高橋 春星さん
(花巻東高校2年)

花巻市の未来へ ちょっと一言



てるい かずとし
照井 一利さん
(北笹間)

花巻市の良さを広めたい

私は昨年の春、部活動と勉強の両立に力を入れていた花巻東高校に入学しました。入学前までは花巻市と関わる機会が少なく、その魅力に気づくことが出来ませんでした。

しかし、一年間花巻市に通う中で、地域の方々が私たち若者を温かく見守ってくださっていることを知り、安心して学

校生活を送ることが出来ています。一方で、花巻市の課題として、学生が楽しめる場所が少なくという声があります。学生が集まる施設や場所を増やすことで、地域の活性化につながり、花巻市の魅力をより多くの人に伝えることが出来ると思います。

地域を盛り上げてくれる皆様へ

日頃から各地域において沢山の行事、イベントを企画運営されている皆様へ感謝いたします。花巻で生まれ育ち50年、多くの行事に参加させて頂きながら世代を越えた交流が出来た事は私の財産となっております。

もちろんですが、更なる行政の支援が必要不可欠だと思います。花巻で生きる誰もが楽しいと思える街、県内外から来る方々が花巻に行きたいと思えるような街となる為に、市民と行政が一体となって地域を盛り上げる行事を今後もし上げて頂ければと思います。

議会の動き 5月～7月

- 5月15日 産業建設常任委員会
- 20日 広聴特別委員会
- 21日 文教福祉常任委員会
- 6月9日 議会運営委員会
- 6月12日～6月26日 令和8年第2回定例会
 - 12日 議会運営委員会、広報特別委員会
 - 19日 議会運営委員会
 - 22日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
 - 23日 産業建設常任委員会
 - 24日 広聴特別委員会、議会改革推進会議
 - 26日 議会運営委員会、議員全員協議会
- 7月2日 広報特別委員会
- 10日 広報特別委員会
- 16日 広報特別委員会

【広報特別委員会】

委員長

羽山るみ子

副委員長

小原 保信

委員

小森田 郁也

鹿討 康弘

及川 恒雄

伊藤 忠宏

佐々木 精市

櫻井 肇

阿部 一男

議会傍聴にぜひお越しを！！

【6月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 56人

【9月定例会】

9月9日(水) 開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。
議会事務局 0198-41-3598 (直通)

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。
また、えふえむ花巻 FM ONE 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

議会 YouTube も

ご覧ください！！

市議会に係る情報や活動、定例会のお知らせなど、市議会の活動内容を伝える動画を配信していきます。

ぜひご視聴ください！！